

2017年9月13日

報道関係者各位

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20
ディーアイシービル

DIC PPS コンパウンドの生産能力を増強

拡大する需要に備え、グローバルリーダーの地位を磐石化

DIC株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：中西義之）は、小牧工場（愛知県小牧市）において、当社がグローバルトップシェアを有する PPS（ポリフェニレンサルファイド）コンパウンドの生産設備増設を決定しました。投資金額は約 8 億円で、生産能力を年産 3,500t 拡大させ、2018 年 9 月の稼動開始を予定しています。



増設を行う生産現場（小牧工場）

スーパーエンジニアリングプラスチックの一つである PPS コンパウンドは、高い耐熱性や耐薬品性、寸法安定性などが評価され、金属の代替素材として自動車用部品に加え、給湯器などの住設分野で多用されています。特に自動車向けでは、採用部品の拡大や要求スペックの高まりによる他プラスチックからの代替、電装部品での採用などもあり、1 台あたりの使用量は年々増加する傾向にあります。

このような背景もあり、グローバル需要は年率 6~8%で拡大しています。PPS コンパウンドの主要な需要地である日本も同様の市場環境にありますが、当社グループとしてこの旺盛な需要に応え、さらに事業を拡大していくため、このたびの増強を決定しました。

当社グループでは、現在進行中の中期経営計画「DIC108」において PPS コンパウンドを成長牽引事業の一つとして掲げ、ポリマからコンパウンドまでの一貫生産体制を強みに順調に実績を上げてきました。近年グローバルで進めてきた生産体制の強化、技術拠点の整備を生かし、現在 27% のグローバルシェアを 2018 年に 30%以上にすることで、グローバルリーダーの地位を磐石化させていく所存です。

以上

PPS関連 生産能力一覧（2018年9月以降）

	地域	生産能力
PPSコンパウンド (ブランド名：DIC.PPS)	日本（小牧）	26,500t (23,000t+増強3,500t)
	オーストリア	6,000t
	マレーシア	4,500t
	中国	6,000t
合計		43,000t
PPSポリマ	日本（鹿島・袖ヶ浦）	23,000t
合計		23,000t